

「共謀罪」

政府の二重基準を批判

日本国際法律家協会が会見

「共謀罪」法の強行
 成立をめぐり、国際民
 主法律家協会（IADL）
 が6月の国連人權

理事会（ジュネーブ）
 で抗議声明を出し、発
 言したことを受け、I
 ADLに加盟する国内

団体・日本国際法律家
 協会（JALISA）
 が21日、東京都内で記
 者会見し、経過を報告
 しました。

IADLは世界90カ
 国余の弁護士らが加盟
 する国際NGO。6月
 16日付の声明は、専門
 家から数々の問題を指
 摘された法案が、審議
 を打ち切る「中間報告」
 という異例の方法で成
 立されたことを問題
 視。プライバシー権や
 表現の自由を侵すとの
 懸念を示した国連特別
 報告者のジョセフ・ケ
 ナタッチ氏の書簡に日
 本政府が明確に答え
 ず、特別報告者の立場

会見するJALISAメンバーら
 21日、東京都内



を軽視する対応をとっ
 たことを批判していま
 す。

IADL理事でJALISA副会長の笹本潤弁護士は、日本政府